

ロータリー財団の補助金プロジェクトの表示に関する指針

ロータリー財団の補助金受領者は、適切なプロジェクト表示を出すことが義務づけられています。当文書3ページにある、プロジェクト表記の例をご覧ください。

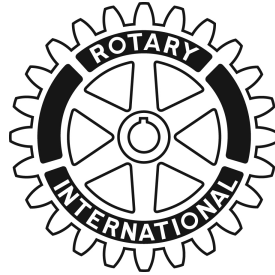
補助金受領者はまた、以下に抜粋されているロータリーの標章の適切な使用に関する方針を順守しなければなりません(下記の内容は、「[ロータリー財団章典](#)」の第 1.050.2 項に記されています)。

1.050.2. 協賛者および協力団体によるロータリー標章の使用に関する RI とロータリー財団の指針

1. ここで認められている限定的使用に対し、国際ロータリー(以後「RI」)(あるいはロータリー財団、以後「TRF」)[該当しない方の文字上に線を引いて削除]は、[協賛者および提携者の名称](以後「協賛者」)が、下記の方法と下記の規定に従い、以下に定義されているロータリー標章を使用できることを認める。
2. 協賛者は、RI が世界中において、「ロータリー」、ロータリー徽章、「国際ロータリー」、「ロータリー・クラブ」、「ロータリー財団」、ロータリー財団のロゴ、「ロータリアン」、「ローターアクト」、ローターアクト記章、「インターアクト」、インターアクト記章、「ポール・ハリス・フェロー」、ポール・ハリスの肖像、「ポリオ・プラス」、ポリオ・プラスのロゴ、「超我の奉仕」、「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」、平和および紛争解決の分野におけるロータリー・センターのロゴなどの数々の商標とサービスマーク(これらを総称して「ロータリーの標章」と呼ぶ。ただしこれらに限らない)の所有者であることを認める。
3. ここで認められている限定的使用は、RI から協賛者にロータリー標章が付与された、あるいは免許を与えられたということにはならない。
4. RI 認可の会合や、RI またはロータリー財団行事の諸会場において、あるいは協賛、協同・提携に関連した一般向けの表示において、どこに協賛を示す資料を表示するかは、RI (または TRF) が決定権を有していることを、協賛者は認める。
5. 協賛者がロータリー標章を使用して広告を出したいと望む出版物やほかの媒体を事前に承認する権限、また宣伝や推進目的も含め(ただしこれに限らない)、いかなる媒体であれ、協賛や協同活動と関連する資料類におけるロータリー標章のすべての使用を承認する権限を RI (または TRF) が有していることを、協賛者は認める。協賛者は、さらに、ここに意図されているそれぞれの使用が、ロータリーまたはロータリーの顧問弁護士による発行前の審査と承認過程を経る可能性があることを認める。RI は、そうした個々の使用の拒否あるいは承認において、または(印刷原稿あるいは割付けの)修正を提案するにあたり、または両者による相互合意がなされるにあたり、唯一の権限を保持する。
6. 協賛者は、協賛するロータリー行事あるいはプロジェクトに直接関連する広告または促進用資料(バナーや標識といった協賛を示す資料を含むが、それらに限定されない)における協賛者のロゴの使用が、ロータリーの徽章(あるいは RI (または TRF) の独自の判断によるほかの徽章)のサイズと同等か、あるいはそれ以下のものでなければならないことに同意する。ただし、ロータリーの徽章またはそのほかのロータリー標章が反復された背景スクリーンの一部として使用される場合は、この限りではない。RI は、ロータリー徽章または他のロータリー標章が部分的に使用されたり、あるいは変形されていなければ、ロータリー徽章またはロータリー標章を異なった表出方法(透かし、刷り込み、隠し、浮かし)することを許可している。協賛団

体がロータリー行事やプロジェクトを通常の広告と組み合わせてその役割を強調したいと思う場合、ロータリー標章は協賛団体のロゴよりも小さくても差し支えないことに、RIは同意している。

7. 協賛者は、上記の6項において明記された規定を変更することなしに、ロータリーの標章は、変更、修正、改変してはならず、全体が複製されなければならないことを認める。協賛者のロゴとロータリー徽章あるいは他のロータリー標章は重ねられることがなく、2つが別々に区別された画像に見えるよう、2つの標章の間に明らかな空間を設けるべきである。
8. ロータリー標章は、どの単一色で複製されてもよいが、二つ以上の色で複製される場合は、ロータリー徽章およびロータリー財団ロゴのための公式色(PMS 286ブルー、PMS871メタリックゴールド、PMS123Cまたは115U黄色。必要であれば、他の標章に関する資料も用意されている)で複製しなければならない。
9. 協賛者は、ロータリー標章は複製を許可されている免許取得者によってのみ複製され得ることを認める。可能な場合は常に、ロータリー標章の複製は、正式に免許を交付されている業者によってなされるべきである。万一、希望の商品がRIの免許取得者から無理なく入手できない場合には、RIの免許担当課から承認を得なければならない(2008年1月管理委員会会合、決定77号)。



プロジェクトの種類

(例: 井戸、学校の机、本の供給、X線検査装置の設置、など)

ロータリー・クラブ名および(または)地区番号
プロジェクト実施国の国名

ロータリー・クラブ名および(または)地区番号
プロジェクト実施国以外の国名

上記以外に参加するクラブ／地区

本プロジェクトは、国際ロータリーのロータリー財団からの
補助金により実施されるものです。